

**【表紙】**

**【提出書類】** 臨時報告書

**【提出先】** 関東財務局長

**【提出日】** 平成26年 1 月10日

**【会社名】** 三井松島産業株式会社

**【英訳名】** MITSUI MATSUSHIMA CO.,LTD.

**【代表者の役職氏名】** 代表取締役社長 串 間 新 一 郎

**【本店の所在の場所】** 福岡市中央区大手門一丁目 1 番12号

**【電話番号】** 代表 092(771)2171

**【事務連絡者氏名】** 執行役員 経理部担当 野 元 敏 博

**【最寄りの連絡場所】** 福岡市中央区大手門一丁目 1 番12号

**【電話番号】** 代表 092(771)2171

**【事務連絡者氏名】** 執行役員 経理部担当 野 元 敏 博

**【縦覧に供する場所】** 三井松島産業株式会社東京支社  
(東京都中央区日本橋室町二丁目 2 番 1 号)  
株式会社東京証券取引所  
(東京都中央区日本橋兜町 2 番 1 号)  
証券会員制法人福岡証券取引所  
(福岡市中央区天神二丁目14番 2 号)

## 1【提出理由】

当社は、平成26年1月10日開催の取締役会において、日本ストロー株式会社の全株式を取得し、子会社化することについて決議いたしましたので、金融商品取引法第24条の5第4項及び企業内容等の開示に関する内閣府令第19条第2項第8号の2の規定に基づき、臨時報告書を提出するものであります。

## 2【報告内容】

### (1) 取得対象子会社の概要

商号、本店の所在地、代表者の氏名、資本金の額、純資産の額、総資産の額及び事業の内容

商号	日本ストロー株式会社
本店の所在地	東京都品川区大崎5-1-11
代表者の氏名	代表取締役社長 稲葉 敬次
資本金の額	310百万円（平成24年12月31日現在）
純資産の額	3,117百万円（平成24年12月31日現在）
総資産の額	6,027百万円（平成24年12月31日現在）
事業の内容	ストロー及び包装資材の製造販売 食品容器、包装資材の輸入販売 食品容器、包装資材のライセンス事業

最近3年間に終了した各事業年度の売上高、営業利益、経常利益及び純利益

	平成22年12月期	平成23年12月期	平成24年12月期
売上高（百万円）	-	1,526百万円	3,818百万円
営業利益又は営業損失（ ）（百万円）	0百万円	118百万円	304百万円
経常利益又は経常損失（ ）（百万円）	23百万円	95百万円	301百万円
当期純利益又は当期純損失（ ）（百万円）	24百万円	491百万円	141百万円

当該会社は、平成23年7月末まで「日本ストローホールディングス株式会社」として存続しておりましたが、平成23年8月1日を合併期日として、子会社であった事業会社「日本ストロー株式会社」を吸収合併し、商号を「日本ストロー株式会社」へ変更しております。

なお、平成22年12月期、平成23年12月期の連結指標については下記のとおりです。

(参考)連結指標

	平成22年12月期	平成23年12月期
連結売上高（百万円）	3,882百万円	3,663百万円
連結営業利益（百万円）	278百万円	253百万円
連結経常利益（百万円）	270百万円	244百万円
連結当期純利益（百万円）	194百万円	141百万円

提出会社との間の資本関係、人的関係及び取引関係

資本関係	当社と取得対象子会社との間には、記載すべき資本関係はありません。
人的関係	当社と取得対象子会社との間には、記載すべき人的関係はありません。
取引関係	当社と取得対象子会社との間には、記載すべき取引関係はありません。

(2) 取得対象子会社に関する子会社取得の目的

当社グループは、大正2年（1913年）の創業以来、長年培ってきた炭鉱経営の知識と経験並びに高度な採掘技術を活かし、石炭販売と石炭生産の燃料事業を中核事業と位置付け、日本におけるエネルギーの安定供給に取り組んでまいりました。

世界的な石炭需要は今後も新興国を中心に拡大する見通しであり、当社グループとしても引き続き新たな石炭権益の獲得を強力に進めておりますが、一方で燃料事業の業績は、石炭価格や外国為替等の外部要因の変動に大きく左右され、また昨今は、再生可能エネルギーやシェールガス等エネルギー資源を取り巻く構造変化も進んできております。

当社グループは、こうした将来のエネルギー資源ビジネスの変化に対応し、収益基盤の安定化・多様化を図るため、成長戦略として燃料事業への継続的な取り組みと併せ、燃料事業以外の分野での新たな事業の柱を築くことによる安定的な事業ポートフォリオの構築を喫緊の課題と考え、昨年の施設運営受託事業やメガソーラー事業の拡充等を進めてまいりました。

この度当社子会社となる日本ストロー株式会社は、昭和58年（1983年）に伸縮ストローを開発してから今日に至るまで、同事業の先駆者として独自の技術・ノウハウを蓄積し、国内市場における圧倒的なシェアを有するリーディングカンパニーとして確固たる地位を確立しております。日本ストロー株式会社の「安心・安全・便利、高品質なストロー」は、大手乳業・飲料メーカー等の優良顧客から高い信頼と評価を得て、安定した取引基盤を有し、堅調な業績をあげております。

日本ストロー株式会社は、当社グループ傘下となることにより、海外市場や国内の介護関連業界への拡販等、本事業の更なる発展と拡大が期待できます。当社グループは、燃料事業以外の分野での新たな事業の柱として、積極的に本事業の育成・強化を進めてまいります。

(3) 取得対象子会社に関する子会社取得の対価の額

日本ストロー株式会社の普通株式	3,060百万円
アドバイザー費用等（概算額）	40百万円
合算（概算額）	3,100百万円